

今週は名詞の格変化について扱う。今回はこのコーナー最後の与格を取り上げる。

与格とは、日本語で「～に」と表される、間接目的語に使う格変化である。英語では目的格に吸収されていて存在しない。また、日本語で「～には」と表される構文においては、与格を主語として使う。これを与格主語という。英語で“Me too”などと表すときもウクライナ語では与格を使う。

“Me too” = “Мені теж” なのは мені が я の与格だからである。単数形において大半は直前回で紹介した処格と同形であるが、中性名詞は単数・複数とも形が異なる。

ここに性別ごとの格変化の語尾をリストアップする。頻出の属格と対格も併記する。まずは男性名詞単数形。

男性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	∅	∅	∅ / -ь	-й
属格	-а / -у	-а / -у	-я / -ю	-я / -ю
対格	∅ / -а	∅ / -а	-ь / -я	-й / -я
与格	-ові / -у	-еві / -у	-еві / -ю	-єві / -ю

次は中性名詞単数形。

中性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	-o	-e	-e	-я
属格	-a	-a	-я	-я
対格	-o	-e	-e	-я
与格	-y	-y	-ю	-ю

次は女性名詞単数形。

女性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	-a	-a	-я	-я
属格	-и	-і	-і	-ї
対格	-y	-y	-ю	-ю
与格	-і	-і	-і	-ї

与格は次ページに示した人称代名詞での出現率が非常に高いが、これは主語としての用法がほとんどである。1番目の例文の **мені** も主語的用法である。

最後に人称代名詞の与格。与格は人称代名詞での出現率が高い割合を占めている。

人称代名詞の格変化

格	私	君	彼	彼女	それ
主格	я	ти	він	вона	воно
属格	мене	тебе	його нього	її неї	його нього
対格	мене	тебе	його нього	її неї	його нього
与格	мені	тобі	йому	їй	йому

格	私達	あなた	彼ら/彼女ら
主格	ми	ви	вони
属格	нас	вас	їх / них
対格	нас	вас	їх / них
与格	нам	вам	їм

(例)

- **Мені** вже двадцять років. (私はすでに 20 歳だ。)
- Я даю **тобі** це. (私は君にこれをあげる。)
- Сенсей дає **Віктору** цю роботу. (先生はヴィクトルにこの仕事を与える。)

□練習問題

ウクライナ語を和訳せよ。

- (1) Вам вже двадцять п'ять років?
- (2) Я даю Сенсею цей яблучний сік.
- (3) Руй дає Нене м'яту.

□復習問題

和文をウクライナ語にせよ。

- (4) 先生はアップルパイを好む。
- (5) 今は皐月の10日だ。
- (6) アンの父親はケンだ。(父親をパパに置き換えてもよい)

▲次週以降の予定

日付	内容	備考
05-15	前置詞 в 及び у	スキットあり
05-16	前置詞 на	
05-17	間投詞	
05-22	家族関係、友達関係	スキットあり
05-23	「～の」を表す -ський	
05-24	命令形	
05-29	服装	スキットあり
05-30	食べ物	
05-31	インフラ関連	